

# 地域密着型金融推進の取り組みについて

(2017年4月～2018年3月)

## 中期経営計画における地域密着型金融推進の位置付け

### 中期経営計画「Create Chance Create Future」

～福井銀行は地域とともに、お客さまとともに、未来へのチャンスを創り出します～

福井銀行では、2015年4月から2018年3月までの3年間について、中期経営計画「Create Chance Create Future」に基づいて、「地域密着型金融の実践」に取り組んでおります。

#### 【中期経営計画「Create Chance Create Future」（2015年4月～2018年3月）の概要】

##### ■中期経営計画における地域密着型金融推進の位置付け

この中期経営計画では、地域金融機関として金融サービスを通して、地域の『働く人』『働く場所』を増やすことが、“地域の活性化”すなわち“企業理念”の実現につながるものと位置付けて取り組んでまいります。

##### ■中期経営計画の概要

福井銀行の存在意義である“企業理念（※）”の実現に向け、10年後のあるべき姿を「グランドデザイン」として掲げ、「お客さまが『そばにいてほしい』と思う日本一の銀行」を目指してまいります。この中期経営計画では、「目に見える」「一緒に動いている」と感じていただける営業活動の展開と相談・支援体制の構築を軸として、未来へのチャンスを創り出す各種計画を実行してまいります。

※企業理念…「地域産業の育成・発展と地域に暮らす人々の豊かな生活の実現」

## 目次

本誌では、中期経営計画「Create Chance Create Future」および地域密着型金融推進の取り組み方針に基づいて活動した内容についてご紹介いたします。

- ❖ 法人のお客さまに対するコンサルティング機能の発揮
- ❖ 個人のお客さまに対するコンサルティング機能の発揮
- ❖ 地域の面的再生への積極的な参画
- ❖ 地域や利用者に対する積極的な情報発信

2018年7月



いつも、いつでも、いつまでも。

福井銀行

# 法人のお客さまに対するコンサルティング機能の発揮

## 創業・新規事業開拓支援への取り組み

### 方針

- ・お客さまとのコミュニケーション強化により、事業ニーズを的確に把握し、最適なソリューションをご提案します。
- ・常に安心・満足してご相談いただけるサービス機能の提供、人材の育成に取り組めます。
- ・多種多様なニーズにお応えするため、地元支援機関や外部機関との連携を強化します。

### ◆「ふるさと企業育成ファンド」の活用促進

2011年9月に福井県及び当行を含む県内7金融機関により創設された同ファンド（ファンド総額：100億円、うち当行45億円を無利息貸付）では、「新分野展開スタートアップ支援事業」として、経営の多角化や事業転換を図り、新分野への事業展開を行う企業へ助成を行っています。

助成制度の運営母体である公益財団法人ふくい産業支援センター及び福井県内支援機関（商工会議所、商工会）と連携し、お客さまの事業計画策定支援・申請書提出支援に取り組ましました。

2017年度採択事業者	11社
うち当行経由による採択事業者	5社

※2016年度実績 採択事業者：9社  
うち当行経由で採択された事業者：6社

### ◆創業者支援体制の充実

2015年8月にスピーディーな創業者支援を実現するため専用貸出商品「ふくぎん創業支援ファンド」の取扱いを開始しました。また、2016年4月よりグループ会社である株式会社福銀リースにおいて「創業者支援リース」の取扱いも開始し、グループ全体での創業者支援に取り組んでいます。

2017年度創業関連融資取組件数	38件
------------------	-----

### ◆日本政策公庫（国民生活事業）との創業支援スキーム「W-ing」（ウイング）の新設

2017年9月から日本政策公庫福井、武生両支店（国民生活事業）と連携して、県内創業者を対象に協調支援スキーム「W-ing」（ウイング）を立ち上げました。創業者の相談にワンストップで応じ、事業計画の策定から資金支援までを協調して行い、創業後も事業成長に向けたフォローアップを継続して行います。

「W-ing」（ウイング）取組件数	5件
-------------------	----

（制度の取扱い開始以降）

## 成長支援への取り組み

### 方針

- ・ビジネスマッチング活動を通じて、お客さまの新たなビジネスチャンス創造します。
- ・新たな金融サービス機能の開発により、多様な資金調達方法を提供します。
- ・海外展開や医療・農業などの専門性が高いニーズに対応できる人材を育成します。

### ◆ビジネス商談会の開催・参加

ビジネス商談会を開催し、お客さまの新たなビジネスチャンスの獲得の支援に取り組ましました。

・六ツ星観光プロジェクト ビジネス商談会  
（2017年7月 岐阜開催）

当行お取引先参加数：21社

・三越伊勢丹バイヤーミーティング2017  
（2017年9月 福井開催）

参加企業数：9社

・越前・若狭 食の國ふくい商談会  
～食の歳時記～

（2017年10月 東京開催）

参加企業数：15社

・地方銀行フードセレクション2017

（2017年11月 東京開催）

当行お取引先参加数：8社

・第8回ネットワーク商談会 IN 大阪

（2017年11月 大阪開催）

当行お取引先参加数：10社

・六ツ星観光プロジェクト  
NEXCO中日本金沢支社商談会

（2018年3月 石川開催）

当行お取引先参加数：20社

・FOODEX JAPAN 2018

（2018年3月 千葉開催）

当行お取引先参加数：8社

◆ビジネスソリューションの取り組み

当行のネットワーク（業務提携先含む）を最大限に活用し、お客さまへ最適なソリューションの提供に取り組みました。

当行ソリューション案件の登録件数	5,050件
うちソリューション提供に至った件数	3,014件

（2017年度実績）

◆海外進出支援への取組み

〈バンコク駐在員事務所による現地支援〉

お客さまのアセアン地域への事業展開をより積極的に支援していくために、2014年11月にアセアン主要国であるタイ王国の首都バンコクに駐在員事務所を開設し、お客さまのアセアンビジネスの支援を行っております。また、駐在員事務所に、福井県と共同で「ふくいバンコクビジネスサポートセンター」も開設しています。

〈個別相談会開催による海外情報支援〉

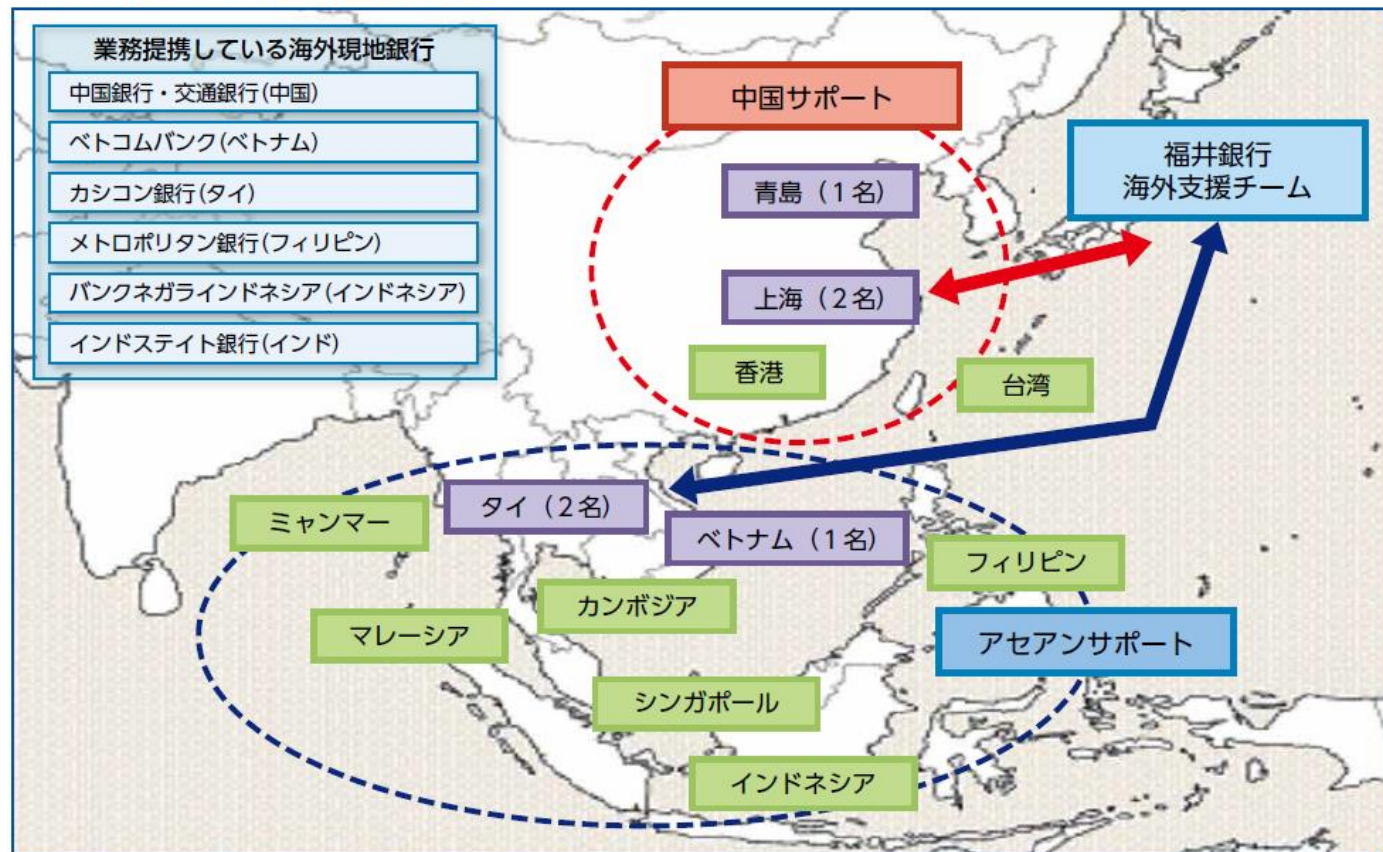
お客さまの海外への事業展開に関する課題に対するソリューションの一環として、セミナー・個別相談会等を開催しました。

・「外国人留学生と県内企業の合同企業説明会」

（2017年4月）

外国人留学生を対象とした合同企業説明会を、福井県、福井商工会議所、公益財団法人福井県国際交流協会と共同で開催しました。外国人留学生の採用を希望するお客さまと福井県での就労を希望する外国人留学生のみなさまへ出会いの場をご提供し、お客さまの海外展開に対し「人材面」での支援に取り組みました。

〈海外への行員派遣・現地銀行との連携状況〉



（2018年3月末時点）

・「アセアン・中国ビジネス個別相談会」

（2017年8月）

お客さまが抱える海外進出・海外展開・拠点運営における課題・問題点に対するソリューションとして各国（中国、タイ、ベトナム、ミャンマー、カンボジア）の専門家を交えた個別相談会を開催しました。

相談員：株式会社フォーバル

（ベトナム、ミャンマー、カンボジア）

株式会社アークビジネスサーチ（タイ）

株式会社ビーステップ（中国）

・「カンボジアセミナー・個別相談会」

（2017年11月）

カンボジアの主要団体であるカンボジア繊維協会、プノンベンSEZを招き、カンボジアの最新投資・ビジネス環境や繊維業界の動向、企業、経済特区についてのセミナー・個別相談会を開催しました。

・「越境EC個別相談会」

（2018年1月、3月）

中国消費者向けの日本商品特化型越境ECプラットフォームサービス「豌豆（ワンドウ）」を運営するInagora（インアゴラ）株式会社と連携し、中国への販路拡大を希望するお取引先への個別相談会を開催しました。

〈海外支援チームの帯同訪問等による支援態勢強化〉

専門知識を持った本部行員が営業店担当者に帯同しお客さまを訪問。海外情報の提供やソリューションの提供、相談支援に取り組みました。

海外支援チームによる支援件数：758件

（2017年度実績）



## 事業承継支援への取り組み

### 方針

- ・お客さまのニーズを的確に把握し、事業承継計画の策定・実践支援に取組みます。
- ・本部専門部署の機能強化により、営業店と一体となってお客さまの計画を支援します。
- ・外部専門機関との連携強化により、さまざまな角度からの情報提供に取組みます。

#### ◆セミナーの開催

中小企業経営者や医療機関経営者を対象としたセミナーを開催し、事業承継等に関する情報提供に取り組みました。

- ・「中小企業経営者のための事業承継・M&Aセミナー」  
(2017年12月開催)

当行主催

参加者：16名

- ・医療経営セミナー

「地域医療に貢献している中小病院の承継対策」  
(2017年9月開催)

当行・一般社団法人福井県医師会共催

参加者：25名

#### ◆本部渉外チームの帯同訪問等による支援状況

専門知識を持った本部行員が帯同訪問し、事業承継情報の提供やソリューションの提供、相談支援に取り組みました。

- ・本部渉外チームによる支援件数：398件  
(2017年度実績)

#### ◆次世代経営塾の開講

2016年度に引き続いて、「第7期 福銀次世代経営塾」を開講しました。

この経営塾は自社経営のさらなる発展をめざす次世代経営者の育成を目的としており、外部コンサルタントや県内地元講師と提携して講義を実施しています。

- ・「第7期 福銀 次世代経営塾」  
受講者：28名



## 経営改善、事業再生・業種転換等支援への取り組み

### 方針

- ・お客さまの経営課題について、財務面・事業面から分析・把握する支援を行います。
- ・お客さまの状況に応じ課題解決のための、最適なソリューションの提案を行います。
- ・ソリューション提案後も訪問活動を通じて、経営改善・事業再生を支援します。

#### ◆経営改善への取組状況

中小企業再生支援協議会との連携のほか、認定支援機関による経営改善計画策定支援事業を活用して、お客さまの経営改善支援・事業再生支援に取り組みました。

- ・中小企業再生支援協議会

再生計画策定先	9件
現在進行中の案件(3月末現在)	8件

(2017年度実績)

- ・認定支援機関による経営改善計画策定支援事業

経営改善計画策定先	6件
-----------	----

(2017年度実績)

#### ◆貸出条件の変更等への取組状況

2013年3月をもって金融円滑化法は終了しましたが、当行の取組姿勢に変更はございません。今後もお客さまからのご相談に真摯かつ迅速に対応していきます。

- ・中小企業者

申込累計金額	9,781億円
うち対応累計金額	9,300億円

(2009年12月～2018年3月末までの累計実績)

- ・住宅ローン

申込累計金額	215億円
うち対応累計金額	180億円

(2009年12月～2018年3月末までの累計実績)

# 個人のお客さまに対するコンサルティング機能の発揮

## 方針

- ・お客さまのニーズを把握し、安心して選んでいただけるサービス・商品を提供します。
- ・お客さまが安心してご相談いただける人材を育成します。
- ・お客さまにご満足していただける分かりやすい説明を心掛けます。

### ◆インターネット支店（ジュラック王国支店）の開設

2017年3月よりインターネット支店を開設いたしました。実際の店舗を持たず、「アプリ」「インターネットバンキング」「ATM（キャッシュカード）」でお取引いただけます。また、全国のセブン銀行ATMを利用手数料無料でご利用いただけます。

### ◆新スマートフォンアプリの提供開始

#### ・口座開設アプリ

（2017年3月取扱開始）

インターネット支店（ジュラック王国支店）の口座開設ができます。

#### ・福井銀行アプリ

（2017年3月取扱開始）

普通預金口座の残高・入出金明細照会が即時ご利用いただけます。

#### ・マネーフォワード for 福井銀行

（2016年9月取扱開始）

家計簿アプリ「マネーフォワード」の福井銀行版がご利用いただけます。



### ◆JURACA（ジュラカ）で地域活性化

当行と株式会社福井新聞社は、多機能型ICカードを軸とした地域活性化基盤「ふくい価値創造プラットフォーム」の構築を目指し、2016年4月から全国で使える電子マネーサービスと独自の地域サービスを一体で提供するカード「JURACA（ジュラカ）」を発行・運営しております。2016年10月には福井県の「ふるさと県民カード」第1号に認定され、地域社会の発展に寄与するカードとして一層のサービス拡充に努めてまいります。



### ◆WiL (Woman's inspiration Library)

福井駅西口再開発ビル ハピリン2Fに開設しました「WiL」が2018年4月に2周年を迎えました。2018年度は約1万6千名の方にご利用いただきました。また、年間100回を超えるセミナーやワークショップを開催し、毎回多くの方々にご参加いただいております。

今後も福井駅前の活性化、地域のお客さまの豊かな生活を実現するお手伝いをさせていただくため、約1,300冊の本に囲まれたリラックス空間のご提供・充実に努めてまいります。



### ◆セミナーの開催

お客さまのライフステージに応じたセミナーを開催し、各種情報の提供に取り組みました。

#### ・ふくぎん フレッシュヤーズセミナー2017

2017年4月に新社会人となられた方を対象として、「ふくぎん フレッシュヤーズセミナー」を開催しました。地域事業者のみなさまの人財育成ニーズにお応えするため2012年度より開催しており、6回目の開催となる今年度は137社、計658名の新社会人の方々に参加いただきました。

#### ・資産運用セミナー

（2017年度 計22回開催）

お客さまの資産運用ニーズにお応えし、資産形成のお手伝いをさせていただくための情報提供の場として「お客さまセミナー」を開催しました。WEB会議システムを通して全店的に行うものや、「マネーカフェセミナー」と題して少人数でリラックスして参加いただけるものまで、お客さまのニーズに応じたテーマ・内容で開催しております。

#### ・信託セミナー

（2017年度 計3回開催）

認知症や高度障害で意思判断能力が低下すると、「自分の財産が自分のために活用できなくなる」という大きなリスクが生じます。このリスクへの対策として「信託」が注目を集め始めています。新時代の財産管理・承継の仕組みである「信託」をお客さまにわかりやすく解説するセミナーを開催しました。

### ◆相談拠点の充実

#### ・「ふくぎんプラザ福井」新築移転オープン

2017年5月6日（土）に新築移転オープンしました。お客さまのニーズの多様化やライフスタイルの変化に対応し、お客さまのご満足を更に高めるために、店舗を新築し広いロビーやプライバシーに配慮した相談ブース、十分な駐車スペース、バリアフリー構造など、お客さまの利便性を考慮したより良い店舗です。併せて、名称を「福井銀行」の相談拠点ということが連想しやすく、覚えやすい名称として「ナチュラルプラザ福井」より「ふくぎんプラザ福井」に変更しました。

## 地域の面的再生への積極的な参画

### 方針

- ・地域経済のシンクタンクの役割を担うべく、情報の収集・蓄積・発信を行います。
- ・地域の産業調査による面的再生に向けた情報支援を行います。
- ・新たなビジネスチャンスへの提言を行います。
- ・金融経済教育の提供や企業見学の受け入れにより金融知識の普及・啓蒙に取り組みます。

#### ◆地域のシンクタンクとしての取組み

地域のシンクタンクとしての役割を果たすべく、景況アンケート・地域の経済情報・トピック情報・統計資料などを盛り込み「福銀ジャーナル」を四半期毎に発刊し、情報発信に努めています。

#### ◆まち・ひと・しごと創生に向けた取組み

地方公共団体・地元支援機関・地元大学と密に情報交換を行うなど、産学官連携による地域資源の有効活用および地域経済の活性化に向けて積極的に取り組んでいます。

##### 〈地元大学との協定締結、連携強化〉

###### ・地元大学との協定締結

産学官連携の推進に向けて、以下の大学と協定を締結しています。

福井大学、福井県立大学、福井工業大学

###### ・地元大学との産学官金コーディネーター制度の創設

2017年度より、大学と福井銀行との間で、産学官金連携コーディネーター制度を随時導入しております。この制度は、大学よりコーディネーターの委嘱を福井銀行行員が受け、福井銀行のネットワークを活用して地域企業が抱える技術的課題を把握した上で、大学への橋渡し、大学の研究者とのマッチングを行うことにより、地域企業の新たなビジネスチャンスの創出を目指していくものです。2017年度は、福井大学と福井県立大学で導入しています。

##### 〈株式会社福井キャピタル&コンサルティングの業務体制の強化〉

株式会社福井キャピタル&コンサルティングは、ファンドによる投融資とコンサルティング機能を通じて地域経済の活性化と更なる発展に寄与していくことを目的に、2015年7月に設立されました。

2017年度には、業務体制の強化・経営コンサルティング機能向上等を目的に、人員を増強し、お客さまの創業・成長・経営改善などのライフステージに応じたコンサルティング業務への取組みを強化しております。

#### 〈ファンドを通じた地場産業活性化支援〉

##### ・ふくい観光活性化ファンド

福井銀行・株式会社福井キャピタル&コンサルティングと、株式会社地域経済活性化支援機構とREVICキャピタル株式会社が共同出資し、2015年8月に設立しています。パイロット地域（福井県小浜市）及び福井県内において、周遊観光の促進を図り、観光消費額の増大を図ることを目的に、リスクマネーの供給及び専門家によるハンズオン支援を行っています。

##### ・ふくい未来企業支援ファンド

福井銀行・株式会社福井キャピタル&コンサルティングと、福井県・福井県内金融機関・ゆうちょ銀行・REVICキャピタル株式会社が共同出資し、2018年3月に設立しています。

本ファンドは、福井県で初めての官と民による共同出資ファンドであり、主として福井県に重要な事業拠点を有し、株式公開を目指す企業の成長支援を行うことを目的としております。

##### 〈ふくいオープンイノベーション推進機構（FOIP）への参画〉

「ふくいオープンイノベーション推進機構」は、大学・公設試・銀行等の人材が、企業の開発ニーズに対応するため、チームで応援するオープンな仕組みとして、2015年6月に福井県工業技術センターに設置されたものです。当行も連携機関として参画しています。

さらに、オープンイノベーションの柱である「県民衛星プロジェクト」に取り組む「福井県民衛星技術研究組合」（2016年9月設立）に福井銀行グループも参画しており、産学官金連携による新産業創出を目指します。

##### 〈あわら坂井ふるさと創造推進協議会の設立〉

坂井・あわら両市における若い世代の県外への流出に歯止めをかけるべく将来地域を担う高校生等にシビックプライド（ふるさとへの愛着）を醸成することを目的に、坂井市・あわら市・両市の高校およびPTA・三国公共職業安定所と連携し、2018年5月に設立しています。今後は、高校生が魅力あふれる地元の企業を知る機会や企業とコラボし創作活動を行う機会を設けるなど、幅広い活動を展開していく予定です。



## ＜PPP/PFIふくい地域プラットフォームの取組み＞

2016年度に続き、福井銀行・北陸財務局・株式会社日本政策投資銀行と連携し、福井県内の地方公共団体、地域金融機関、民間事業者等の参画を得ながら、福井県内におけるPPP/PFI（注）の推進、公的資産マネジメントの支援を行う地域プラットフォームを運営しております。

2017年度のプラットフォームでは、具体的案件をテーマに、PPP/PFI事業で必要となる官民対話や導入に向けたセミナーおよびワークショップを実施しました。

当行はこうした取組みを通じて、引き続き福井県内におけるPPP/PFIの理解促進および機運醸成に努めてまいります。

（注）PPP（Public Private Partnership：パブリック・プライベート・パートナーシップ）とは、行政主体による公共サービスを、行政と多様な構成主体との連携により提供していく新たな考え方。民間委託、PFI、指定管理者制度、民営化、地域共同、産学公連携等を含めた公民連携手法の総称。

PFI（Private Finance Initiative：プライベート・ファイナンス・イニシアティブ）とは、公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力および技術的能力を活用して行う新しい手法。

## ◆公益財団法人福井銀行教育福祉財団による寄附事業

公益財団法人福井銀行教育福祉財団は、当行の役員で構成していた「保堂会」という任意団体が設立母体となって設立した法人が、2013年10月に名称変更した公益財団法人です。

教育の振興および福祉の向上に寄与することを目的として、毎年春と秋に福井県内の学校教育関係団体や社会福祉関係団体等に対して寄附事業を実施しています。

2017年度は、計31団体に総額549万円を寄附しました。

## ◆金融知識の普及・啓蒙

教育機関への講師派遣による金融経済講座の開催や、職場見学・当行職員との座談会等による金融知識の普及、啓蒙活動を通して、地域の明日を担う人材の育成のお手伝いに取り組んでいます。

- ・金融経済講座、職場体験・見学会
- ・当行職員との座談会等の開催実績

小・中学生	14校 (16回)	219名 が参加
高校生	13校 (19回)	1,204名 が参加
大学生	1校 (1回)	80名 が参加

## 地域や利用者に対する積極的な情報発信

### 方針

- ・地域密着型金融の取組み状況について、積極的かつ具体的に情報発信します。
- ・地域のお客さまへ福井銀行が有する情報、ノウハウを積極的に発信します。

## ◆福井銀行が有する情報・ノウハウの積極的な発信

### ・インターンシップの開催

インターンシップを22回開催し、430名の学生の方々に参加いただきました。


### ・マナー向上・顧客満足度向上セミナーの開催

マナー向上・顧客満足度向上に向けたセミナーを16回開催し、14社計548名のお取引企業の社員の方々に参加いただきました。

### ◆SNSでの情報発信

SNSを活用し、当行の取組内容の情報発信を行っています。

 facebook

 Instagram



福井銀行



ふくジェンヌ



ヒロちゃんが行く!  
ふくい食巡り




WIL(ウィル)



WIL(ウィル)

 LINE@

 YouTube



福井銀行



福井銀行

## ◆観光活性化プロジェクトチーム「ふくジェンヌ」による観光ガイドブックの発刊および「日本タウン誌・フリーペーパー大賞2017」での企業誌部門賞優秀賞の受賞

観光活性化に向け、女性行員で結成されたプロジェクトチーム「ふくジェンヌ」が、昨年に引き続き地元ならではの視点で福井の魅力を盛り込んだ観光ガイドブック「いこっさ！福井」の第3弾を発刊しました。

なお、「いこっさ！福井」は一般社団法人日本地域振興協会主催の「日本タウン誌・フリーペーパー大賞2017」において、企業誌部門賞にて優秀賞を受賞しました。同アワードでの金融機関の受賞は全国で初、福井県内企業の受賞も初の快挙です。

